

平成 2 5 年 第 4 回定例会

( 1 2 月 1 2 日 )

# 一 般 質 問 資 料

( 1 回 目 )

自由民主党千葉市議会議員団  
向 後 保 雄

平成 2 5 年 第 4 回 定 例 会 （ 1 2 月 1 2 日 ）

二 回 目 か ら 一 問 一 答

通 告 時 間 ： 2 5 分

自 由 民 主 党 千 葉 市 議 会 議 員 団 の 向 後 保 雄 で ご ざ い ま  
す。

# 1 中央区の諸問題について

## (1)新宿小学校の過大規模校化への対応について

はじめに、私の母校であります新宿小学校の過大規模校化について伺います。本市の本年11月1日現在の推計人口は、964,539人で、前月に比べ、484人増加しており、前年同月に比べ、590人増加しております。

また、中央区の人口は、前月に比べ、299人の増加、前年同月に比べ1,164人増加しており、都心回帰の現象と同様、本市においても、郊外から利便性の高い中心市街地である中央区に人が集中しているように感じております。実は、新宿地区部会において、国道16号から海側の地区の間屋町・千葉港・中央港には新宿地区部会と同じ規模の約3700世帯が存在し、新宿地区部会ではカバーしきれないので分割の議論がされております。この様に新宿小学区の急激な人口増加は、そもそも間屋町地区のマンション建設急増によるところが大きいと言えます。その結果、新宿小学校に通う生徒が増加したために、神明町と出洲港の生徒が寒川小学校に学区変更になることで解決しようという教育委員会からの提案に対して神明町・出洲港の住民から反対運動が起こり2600名強の署名を持って新宿小学区維持の請願を平成22年第1回定例会に提出し継続審査となりましたが、教育委員会が学区維持を理

解してくれたため願意は満たされたとして請願は取り下げましたが、その後、今から3年前に教育委員会と近隣自治会長や新宿小、新宿中 PTA 役員等が集まって何回も議論をし、最終的に平成26年4月から6年生が新宿中学校の増築校舎に移るという形で、現在中学校に必要な校舎を増築しております。

そこで、現在の新宿小学校の学級数と児童数はどうなっているのか伺います。

## (2)台風の被害対策について

次に、台風の被害対策について伺います。

去る10月15日夕刻に気象庁は台風26号について、関東地方に接近・上陸する台風としては10年に一度の強い勢力であるとして警戒を呼び掛けました。また、伊豆大島の大島町に対しては大雨洪水警報や土砂災害警戒情報を出しましたが、夜間、大雨の中で自宅から外に出るのは危険であると判断し、町役場は住民に避難を呼びかけませんでした。その結果、多数の死者行方不明者が出てしまったわけです。これは明らかに行政の判断ミスであります。避難を呼びかける時期を考えるべきだと思います。一方、本市においても台風26号により各地で多くの降雨水害が発生しております。私も消防団員として消防車で警戒出動をいたしました。中央区では床上浸水11棟、床下浸水102棟とのことですが、現場に出てみますと、雨水が流れきれずに地盤の低い場所に滞留し、旭町では何台もの車両が沈没しておりました。また、神明町の床下浸水現場に行きましたが、地盤の低い場所に周りの雨水が流れて来て雨水管が呑み込み切れずにあわや床上浸水かと心配するほどでした。

そこで、伺います。中央雨水貯留管が整備されたことによって今回の台風被害に対して、大きな効果があったと理解しておりますが、一方、避難勧告や住民へ

の防災情報の伝達手段として防災無線があります。しかし、防災無線が聞き取りずらいとの意見をよく聞きますが、災害時における防災無線の役割とこれに期待する効果はどのように考えているのか伺います。

以上で、私の第1回目の質問を終わります。

当局の明快なご答弁をお願いします。